

3. 第三セクターの経営改善計画の進捗状況について

「第三セクターの見直しに関する指針」により、単年度収支及び剰余金がマイナスの第三セクターは、すべて「経営改善計画」作成の対象となることから、次の5社が、令和4年度から3年度間の経営改善計画を作成している。

① 「経営改善計画」作成対象第三セクター

1) (株) 鳥海高原ユースパーク (ミルジーほか)

⇒ **【債務超過・市貸付金 27,000 千円・民間貸付金 1,000 千円 (羽後信金)】**

2) (株) 黄桜の里 (東由利道の駅ほか)

⇒ **【債務超過・民間貸付金 39,142 千円 (羽後信金・日本政策金融公庫)】**

3) (株) フォレスタ鳥海 (フォレスタ鳥海)

⇒ **【市運営費補助金 30,000 千円・民間貸付金 3,988 千円 (秋田銀行)】**

4) (株) 大内町交流センター (大内道の駅ほか)

⇒ **【経営悪化に伴う指定管理者辞退により R6.8 清算】**

5) (株) 岩城 (岩城道の駅ほか)

⇒ **【指定管理終了により R5.4 清算】**

② 内部検討委員会での点検・評価について

経営改善計画は、毎年度、行政改革推進本部の内部検討委員会で進捗管理を行うこととしており、解散となった2社を除く3社から、令和5年度の決算資料及び、経営改善計画の進捗状況に関する自己評価の提出があり、これをもとに市が点検・評価を行っている。

③ 各社の進捗状況等

- ・(株)鳥海高原ユースパーク…当期損益が黒字となったが、売り上げは減少しており、社員の退職による人件費の減少が主要因であり、計画は未達成。原料となるジャージー牛乳の安定確保や販路拡大が課題となっている。
- ・(株)黄桜の里…当期損益は赤字であり、債務超過となり計画は未達成。しかし、コロナ後の需要回復により一定程度売り上げが増加し、経費節減、人件費の減少により、昨年度より赤字幅が縮小している。
- ・(株)フォレスタ鳥海…当期損益は黒字であるが市の運営費補助によるものである。宿泊者数は、各種旅行支援の終了や人員不足による宿泊制限もあり、昨年度より減少した一方、燃料費の高止まり等により、昨年度より経常損失がさらに拡大しており、計画は未達成。

④ 達成状況を踏まえた市の対応

③の状況から、いずれも経営改善計画は未達成となっており、市運営費補助金がなければ、(株)フォレスト鳥海を含む3社すべてが債務超過状態で、また、2社が昨年度に続き単年度損失を計上しており、経営悪化状態が続いている。

このため、令和6年度以降の経営改善計画について見直しを求めるとともに、進捗状況によっては、事業の存廃や、法人のあり方についても検討する必要がある。

なお、(株)鳥海高原ユースパークについては、令和7年度で現行の指定管理期間が終了するため、今後、市のジャージー牛振興のあり方とともに、指定管理の更新の有無を決定する。また、(株)フォレスト鳥海については、県有施設の指定管理を行っており、他の第三セクターとの一律的な対応が困難な面があることから、「第三セクターの見直しに関する指針」の一部改正を検討する。

⑤ (株)ほっといん鳥海について

エネルギー価格の高騰などにより令和4年度に続き5年度も赤字となり、経営悪化の状態にあることから、6年度から3年間の経営改善計画の策定を求めることとする。なお、策定にあたっては、8年度の指定管理更新の際、直売、飲食部門ともに自主事業となることを踏まえる必要がある。

※経営改善計画の様式については、より客観的な評価が出来るよう、各項目に数値目標を組み入れる等の修正を行うこととする。

第三セクター各社の令和5年度決算状況

(単位：千円)

名称		株式会社 鳥海高原 ユースパーク	株式会社 黄桜の里	にしめ物産 株式会社	株式会社 ほっといん 鳥海	株式会社 フォレスト 鳥海
R5 決算	資本金	60,000	96,000	30,000	30,000	50,000
	剰余金	▲ 62,216	▲ 126,564	20,761	8,345	▲ 35,140
	純資産	▲ 2,216	▲ 30,564	56,601	38,345	14,859
	当期 純利益	614	▲ 13,894	104	▲ 1,540	694
	売上高	66,853	111,555	119,770	45,173	175,643
	人件費	14,832	66,930	23,124	27,577	70,986
	市支出額	8,510	27,931	3,363	6,615	34,611
	指定 管理料	7,613	25,828	3,065	6,146	—
	エネルギー価格高騰 対策等補助金	897	2,103	298	469	4,611
	運営費 補助金	—	—	—	—	30,000
市貸付金	貸付残高 R6.3.31 見込	27,000	—	—	—	—
	貸付内容 償還方法	短期貸付	—	—	—	—
民間借入金		1,000	39,142	3,114	—	3,988
R4 純利益		▲ 1,111	▲ 18,988	3,675	▲ 1,271	5,044
R3 純利益		▲ 810	▲ 2,241	▲ 1,551	221	▲ 9,912
R2 純利益		4,229	▲ 9,638	2,975	1,008	24,739
R1 純利益		▲ 2,016	▲ 13,479	501	161	▲ 394
H30 純利益		▲ 3,301	▲ 13,129	177	526	▲ 8,179
H29 純利益		2,277	▲ 5,430	▲ 5,951	▲ 212	▲ 12,721
H28 純利益		1,082	1,603	▲ 3,236	124	▲ 5,730

※ 剰余金は、これまでの当期利益又は当期損失の累計額

※ 純資産がマイナスということは、資産よりも債務が多いということであり債務超過

※ 当期純利益がマイナスということは、単年度決算において赤字